

No.274
令和8年(2026)
2月15日

OME 市議会だより

令和7年青梅市議会定例会
12月定例議会

特集

青梅市議会2026年、抱負。

2面

先進自治体のここがスゴイ「視察報告」

3面

活動報告「災害対応訓練」

7面

青梅市消防団出初式

今号の表紙は青梅市消防団出初式です。

1月11日(日)にTCNスポーツパーク永山において青梅市消防団出初式が開催されました。団員・車両の分列行進や一斉放水などが行われ、青梅市議会議員が参加しました。

青梅市消防団公式マスコット
「団太」くん

◆今号の概要◆

令和7年12月定例議会が12月4日から19日までの16日間の期間で開催され、議案審議後、一般質問が行われました。上程された議案は、条例8件、補正予算6件、契約7件、人事2件、その他12件の全35件で、いずれも原案どおり可決または同意されました。また、陳情2件が審議され、いずれも不採択となりました。

◆会議の開催状況◆

11月25日 議会運営委員会

11月27日 文化複合施設整備特別委員会

【12月定例議会…期間12月4日から12月19日(16日間)】

12月4日 議会運営委員会、本会議(議案審議、一般質問等)、総合病院建替特別委員会

12月5日 本会議(一般質問)

12月8日 本会議(一般質問)

12月9日 総務企画委員会、環境建設委員会、福祉文教委員会

12月12日 予算決算委員会(一般会計補正予算)、全員協議会、文化複合施設整備特別委員会

12月19日 議会運営委員会、本会議(委員会議案審査報告等)、予算決算委員会(一般会計補正予算)

主な内容

◆特集「青梅市議会2026年、抱負。」…2面 ◆視察報告…3面 ◆一般質問…4～7面 ◆活動報告「災害対応訓練」…7面
◆議案・陳情の議決結果…8面 ◆主な議案の内容…8面 ◆令和8年2月定例議会開催予定…8面



特集

青梅市議会2026年、抱負。



日頃より、議会への深いご理解と、議会活動への温かいご支援、ご協力に対し、議員一同厚くお礼申し上げます。昨年5月に議長に就任後、議長として、一般質問における自席答弁を試行実施するなど議会改革に取り組んで参りました。また、全国競艇主催地議会協議会や関東地区競艇主催地議会協議会の会長として、モーターボート競走事業の売上向上に貢献できるよう努めてきました。今後も、さらに議会改革を進め、市議会をより市民にわかりやすく身近なものと感じてもらえるよう取り組むとともに、



物価の高騰や自然災害への備えなどさまざまな課題にしっかり向き合い、市民一人ひとりが安心して暮らせるよう、真摯な議論を重ねて課題解決に向け、全力で取り組んで参ります。

議長 山崎 勝

昨年は、長引く物価高騰により、市民生活にも大きな影響があった年でありました。また、少子高齢化やさまざまな価値観の多様化が進む中において、医療、介護、子育て、教育、防災、バリアフリーなど、課題解決に向けた取り組みを早急に進めなければならないと深く感じた1年でもありました。さらにデジタル化の加速により、人々の働き方も変化しています。こうした状況を踏まえ、議会としましては、市と協力をしながら、どこまでも多様性を尊重し、地域で支え合いながら、誰もが安心して生活が出来る環境づくりに尽力して参ります。

今後も、市民の皆さまの信頼と負託にこたえ、市民に開かれた議会を目指し、議会のチェック機能の強化を図るとともに、市政の発展に努めて参ります。



副議長 山内 公美子

総務企画委員会



総務企画委員会は、企画部や総務部、ボートレース事業局に関する事項などを所管しており、課題も多岐におよぶ中、青梅市が「全国競艇主催地議会協議会」の会長市ということもあり、昨年から年初にかけては、市の財政に大きく寄与しているモーターボート競走事業の売り上げ向上につながるさまざまな取り組み等について、視察等を行い調査いたしました。今年は新たに「公共施設の広域利用のあり方について」を調査することとし、将来の人口減少やさらなる高齢化社会においても、持続可能な行政サービスを維持していくため、公共施設の近隣自治体との広域利用についての議論をスタートしていきたいと考えております。

総務企画委員長 阿部 悦博

環境建設委員会

環境建設委員会は、道路や下水道・公園等の管理、公共交通、環境保全、ごみ収集やリサイクル、そして防災などを所管しており、それらのテーマに沿った議案審査に加え、陳情審査などを行います。当委員会の今期の所管事務調査事項は、「公共交通における新技術の活用について」「大規模災害時の行政の対応について」であります。本市の発展に寄与できるように、委員相互の活発な意見交換を大切にしながら委員会を運営して参ります。これからも、市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、信頼される議会を目指して活動して参りたいと思います。

環境建設委員長 寺島 和成



福祉文教委員会



福祉文教委員会は、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保険年金のほか、健康福祉に関すること、こども家庭部、福祉事務所、教育委員会、市立青梅総合医療センターなど幅広い分野を所管しております。その中から、昨年は、「不登校児童・生徒の支援策」として北海道帯広市のデジタル技術を活用した支援事業の視察を行いました。今後も、不登校のこどもたちの学校復帰や社会的自立につながるよう調査、研究して参ります。また、所管の委員会として市民福祉の向上につながる施策を委員の皆さんと意見を交わしながら進めて参ります。

福祉文教委員長 湖城 宣子

予算決算委員会

予算決算委員会は、一般会計予算および決算に関する事項を所管しており、議長を除く全議員で構成されています。一般会計の予算や決算について、市民の皆さまの税金が無駄なく生活向上へ最大限活かされるよう、厳正に審査いたします。少子高齢化、防災減災、DX推進など多様な課題の解決へ、予算と決算の連動した審査を通じて市民の期待にこたえて参ります。

予算決算委員長 鴻井 伸二



先進自治体のここがスゴイ

視察報告

全国各地の先進的な取り組みを調査研究するため視察を行っています。

詳細は、ホームページに掲載しています。



総務企画委員会

■ボートレーサー養成所・ボートレース福岡 視察期日 令和8年1月6日(火)～7日(水)
ボートレーサー養成所の設置から25年間で約1,300名が選手として活躍
ボートレース福岡開設以来の一般会計への繰出金累計額は、約3,032億円

視察事項 「選手の育成について」「収益事業の売上向上について」

ボートレーサー養成所では、選手、審判員、検査員の育成についての説明を受けた後、施設の設備や乗艇訓練を視察した。選手の育成においては、ボートの操縦技術を身に付けるだけでなく「礼と節」を重んじ、一般社会人としての素養を備えた人格形成を主眼としている。スター選手の存在によってレースの売上が大きく左右するため、選手の育成機関であるボートレーサー養成所は、ボートレース事業における重要な施設であることを再認識したところである。ボートレースの知見を深めることができ有意義であった。

ボートレース福岡では、事業についての説明を受けた後、施設を視察した。施設は全体的に清潔感があり、魅力的な施設であった。さらに、令和8年10月供用開始予定の全天候型のスケートボードパークを中心としたパーク化事業が進められており、今後の完成が楽しみである。インバウンドの来場促進についても、今年度から戦略策定の会議を開始したとのことで、今後の新規顧客の獲得に重要な取り組みであると感じた。

ボートレース多摩川においても、ファン獲得や売上向上に御尽力されているが、全国の他のボートレース場のさまざまな取り組みを参考にいただき、さらに魅力あるボートレース場となるよう、委員会においても引き続き調査研究していきたい。



■北海道帯広市 視察期日 令和7年10月14日(火)～15日(水)
仮想空間（メタバース）上に、電子図書館などのさまざまな学びの場を再現
令和6年度利用者のうち10名が学校に復帰、利用者からも好評を得る大きな成果

視察事項 「ひろびろチョイスを中心とした不登校児童・生徒の支援策について」

帯広市教育委員会の担当職員から、実際の画面の写真をしながら説明を受けた。帯広市では、市内の小・中学校および義務教育学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適應等によって、不登校の状態にある児童・生徒を対象として、対面形式で支援を受けられる「教育支援センターひろびろ」とオンラインで支援を受けられる「ひろびろチョイス」の2つの事業を実施し、児童・生徒の状況に応じて必要な支援が行えるよう取り組んでいる。ひろびろチョイスにはさまざまな学びのスペースが設けられており、利用者が自ら選択することができ、電子図書館を利用したり友達とゲームで遊ぶこともできるようになっており、メタバース上に学校での活動を再現している。システムの構築にあたっては、他の自治体が採用していた外部委託を行わず、帯広市全体で不登校児童・生徒を応援し支援するため、地元の企業やフリースクール



等の関係団体の協力を得て完成させたとのことであり、地域全体で子どもたちを応援しようとする住民の絆の強さを感じた。また、説明の中で、不登校児童・生徒の支援の目的が必ずしも学校への復帰ではなく、社会的自立につなげていくことであるという話が印象的であった。

青梅市では、現時点ではデジタル技術を活用した不登校支援策の導入の検討はされていないとのことであるが、有効な施策であることから、児童・生徒に配付されている端末を利用し、メタバースに限らず何らかの形で不登校支援への活用を検討する必要があると感じた。委員会としても市および教育委員会に提言できるよう、今後も引き続き調査、研究を行っていきたい。

福祉文教委員会

議会運営委員会

■埼玉県日高市 視察期日 令和7年11月17日(月)
「日高市議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」を制定
情報発信に最低限のルールを示すことは、議会全体の信用を上げる効果と捉えている。

視察事項 「議会および議員の情報発信について」「議会運営の効率化について」

日高市議会議員から、ガイドラインの内容と効果についての説明を受け、議会運営効率化についての情報交換を行った。日高市議会では、全国に先駆けて平成27年12月にガイドラインを制定している。ガイドラインは市議会議員がソーシャルメディアを利用するにあたっての行動指針を定め、遵守する事項について全議員が確認、意識することで法的拘束力はないものの、各議員が自覚を持って気を付けているものと捉えているとのことであった。

青梅市議会でも、事実を確認しない不適切な発言やSNSへの事実と異なる投稿などが、度々、議会運営委員会等で問題視され、この件を含む、問責決議が可決されるまでの事態となっていることを鑑み、早急にガイドラインを制定することが必要であると考えている。青梅市議会版のガイドライン制定に向けて一致協力し、市民に対し正しい情報発信をするよう努めていきたい。





一般質問

12月定例議会では、21名の議員が
一般質問を行いました。

インターネットの議会映像配信にて、
すべての内容を御視聴いただけます。



青梅市議会映像配信二次元コード

用語の解説

注1…スタディ・アシスト事業（5面・茂木議員）

教育課程時間外の中学校3年生向けの学習支援・進路相談事業。

注2…東京マイ・タイムライン（5面・長谷川議員）

風水害からの避難に必要な知識を習得しながら、災害が起こる前に、家族などで話し合っ一人ひとりの適切な行動をあらかじめ決めておく避難行動計画。

注3…プレコンセプションケア（5面・湖城議員）

性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う取り組み。

注4…同行援護（6面・片谷議員）

視覚障害により、1人での外出が困難な障がい者に同行し、必要な情報提供や、移動の援助を行う障害福祉サービス。

注5…RSウイルスワクチン（6面・山内議員）

妊娠後期に接種することで、お母さんの抗体を赤ちゃんに届ける「母子免疫」の仕組みを利用したワクチン。



寺島 和成（自民クラブ）

1 青梅市の防犯の取組について



■青梅市の防犯の取組について

問防犯機器等購入費補助金事業の交付状況について伺う。

答令和7年7月15日の事業開始から10月末時点の申請件数は392件、交付件数は262件、交付額は414万2,000円である。品目については、カメラ付きインターホンが最も多く、次いで、防犯カメラ、人感センサー付きライトなどとなっている。

問宅配ボックス設置費補助制度の検討について市の考えを伺う。

答宅配ボックスの設置により、防犯対策の強化や利便性の向上、再配達削減による環境負荷の軽減など、多面的な効果が期待される。また、置き配の盗難防止につながり、地域における安全性が向上し、安全・安心なまちづくりに寄与するものと捉えている。市としては、国や東京都の動向や、他自治体の先進事例などを参考に、宅配ボックスの設置費補助制度のあり方について研究していく。




目黒 えり（市民フォーラム青梅・都民ファーストの会）

1 健康寿命日本一の実現に向けて
—RSウイルスワクチン、歯科検診、学校での教育など—
2 放課後等のこどもの居場所の充実について
—本市にも児童館を—
3 スポーツ施設の整備について
—弓道場、アーチェリー場、屋外バスケットボール場など—



■健康寿命日本一の実現に向けて

問医師を活用した出前授業を、市内全校へ体系的に展開すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答現在、市内中学校では医師等を招いた出前授業を実施している。今後もその成果を踏まえ、医師の現場経験をもとにした説得力のある授業を青梅総合医療センターの医師とも相談しながら一層充実させていく。

■放課後等のこどもの居場所の充実について

問児童館のようなこどもたちの居場所の必要性について、どのように認識しているか。

答市や民間が実施している既存のこどもの居場所を踏まえ、青梅市全域を総合的な視点で検討していく必要があると考える。居場所の整備にあたっては、大型児童センターの検討過程を十分に活かして取り組む。




中野 芳則（自民クラブ）

1 東青梅駅について
2 釜の淵公園周辺環境の整備と活用について
3 子ども・若者の居場所づくりについて



■東青梅駅について

問ホーム両端への改札やホーム屋根等の設置について、この1年間どのような検討や協議がされてきたのか。

答JRでは新駅舎の構造や機能を今後検討予定であり、市ではホーム両端の改札口やホーム屋根の設置を要望として伝えてきたが、この件についての協議は行っていない。東青梅駅北口のバリアフリー化の早期実現に向けて本事業を進める中、利便性向上の要望にも対応するよう取り組んでいる。



■釜の淵公園周辺環境の整備と活用について

問釜の淵公園水泳場等跡地へデイキャンプ場を整備することで、市民の憩いの場や自然豊かな環境・景観を守り、活かせると思うが、市の見解を伺う。

答近隣住民の方々の意見を伺いながら、水泳場等跡地の有効活用に向け、「有料バーベキュー施設」の整備も一つの選択肢として考えていく。



迫田 晃樹（自民クラブ）

1 青梅スタジアムについて
—公共施設再編計画の観点から—



■青梅スタジアムについて

問青梅スタジアムは公共施設等総合管理計画において、廃止検討の対象となっている。また、BCリーグの新球団に利用いただくには大規模な改修を要し、相応の市費負担が見込まれる。球団より青梅スタジアムの買い取りの打診があった場合は、最大限前向きに検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。



答現状、青梅スタジアムは、リトルシニアをはじめ、高校生や社会人チームなど、多くの市民に利用いただいております。今後も、市民の利用を最優先に、安定的な利用をいただきたいと思っている。青梅スタジアム全体のあり方については、現在、ご利用いただいている方々からのご意見も伺い、検討を深めていく。



もぎ りょうすけ
茂木 亮輔 (日本維新の会)

- 1 学校及び家庭における学習支援策の取組について
—「スタディ・アシスト事業」の拡充に向けて—
- 2 業務の効率化に向けたA I ツールの導入と安全な活用のための仕組みづくりについて



■学校及び家庭における学習支援策の取組について

問 来年度、スタディ・アシスト事業^{※1}の定員を60名から拡大する考えはあるか伺う。

答 指導の質や会場の確保、予算面での負担などの課題があることから、こうした点を十分に考慮し、委託事業者と協議しながら、その運営体制について慎重に検討していく。



■業務の効率化に向けたA I ツールの導入と安全な活用のための仕組みづくりについて

問 A I 活用の安全性確保と効果的運用を目的とした条例整備の検討を進める考えがあるのか伺う。

答 総務省は、今後自治体に対し、利用方法や利用における留意点等のガイドラインを示すこととしている。まずは、この国のガイドラインを踏まえて、市としての安全性確保と効果的運用の方針等を整理することが重要であると考えている。



はせがわ まゆみ
長谷川 真弓 (公明党)

- 1 楽しみながら学ぶ防災教育について
- 2 地域文化を次世代へつなぐための取組について



■楽しみながら学ぶ防災教育について

問 児童が地域のリスクを知り、家庭で話し合う機会をつくるため、市として、家庭との連携を深める防災教育をどのように検討しているのか。

答 「東京マイ・タイムライン」^{※2}の活用は、防災意識を家庭全体で高めるきっかけになるものと考えている。今後も、防災教育教材やデジタルツールを活用しながら、学校と家庭が連携して防災意識を高める啓発を行っていく。



■地域文化を次世代へつなぐための取組について

問 青梅の伝統芸能をこれからの世代にも伝えていくために、市としてどのような支援や工夫を進めていくのか伺う。

答 歴史や文化に育まれた伝統行事が継承され、持続的に進められるよう、関係団体との協議・連携を深め、若年層を含めた市民が参加しやすい機会の創出と、その環境整備に引き続き取り組む。



あべ よしひろ
阿部 悦博 (自民クラブ)

- 1 リサイクルセンターの今後について
- 2 姉妹都市ポッパルト市との今後について



■リサイクルセンターの今後について

問 将来のランニングコストを見据えた、契約状況等の見直しを早い段階で考察してもいいと思うが、市の見解は。

答 設備等の保守点検やメンテナンス、選別処理業務等のランニングコストを抑えながら、効果的に行っていく必要がある。施設の運営方法や業務委託などの内容について、精査をさらに進め、安定的な処理体制につながるよう努めていく。



■姉妹都市ポッパルト市との今後について

問 子どもたちへ姉妹都市であるポッパルト市のことを知ってもらうための取り組みを今後さらに広げる考えはあるか。

答 今後は、これまでの取り組みに加え、青梅市青少年友好親善使節団としてポッパルト市を訪れた方々の体験を生かした、青少年向けの機運醸成事業を行うなど、青梅の子どもたちに、姉妹都市交流のすばらしさをさらに知ってもらえるよう努めていく。



こじょう のぶこ
湖城 宣子 (公明党)

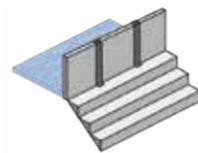
- 1 浸水被害に「止水板」等の活用で有効な対策を
- 2 「プレコンセプションケア」を軸にした健康づくりについて



■浸水被害に「止水板」等の活用で有効な対策を

問 「止水板」の購入等や設置に関する補助ができないか。

答 まずは、土のうや水のうの作製や活用方法、プラントナーなどの家庭にあるものを活用した簡易防水工法の周知に努めていく。補助制度は、他自治体の導入事例を参考に、研究していく。



■「プレコンセプションケア」を軸にした健康づくりについて

問 若い世代をターゲットにした講座の実施、葉酸サブリの配布はできないか。また、栄養相談の窓口の設置について伺う。

答 本年度は、プレコンセプションケア^{※3}の内容を含む市民食育講演会を実施したほか、運動教室の中でもミニ講座を実施する予定である。健康センターの窓口においては、従来から栄養に関する相談も受けているが、今後、婚姻届を提出した方にプレコンセプションケアの内容を含めた相談事業を案内していく。「葉酸」の配布については、研究していく。



やまだ としお
山田 敏夫 (自民クラブ)

- 1 下水道事業における安全対策、財源確保及び受益者負担等について
- 2 優良田園住宅制度のその後の進捗状況について



■優良田園住宅制度のその後の進捗状況について

問 優良田園住宅制度を導入するのかもしれないのか、市の見解は。

答 許可権者である東京都の方針のほか、飯能市と置かれた環境の違いや農業振興策との整合など、多くの課題があり、実現までには、相当の時間を要するものと捉えている。まずは、既存宅地や空き家を活用した施策を優先的に進めることで、優良田園住宅制度と同等の効果が得られるよう、今年度実施している空き家実態調査の結果を踏まえ、既存宅地に関しても現状把握に努めていく。

問 この制度を導入するのかもしれないか、再度伺う。

答 制度を導入するのかもしれないかではなく、しっかりと成果を出すために、まずは、即効性のある既存宅地や空き家の活用へ向けた検討を進めていく。



しまざき みのも
島崎 実 (自民クラブ)

- 1 青梅市における農業の課題等について
- 2 市内公共交通機関の現状と将来について
- 3 市内在留外国人児童・生徒の教育課題等について



■青梅市における農業の課題等について

問 農業後継者を農産物ブランド化の担い手として支援すべきではないか。

答 親元などで農業を学び、既にさまざまな知識や技術を持つ農業後継者は、農作物ブランド化を進めるうえで重要な担い手である。意欲と能力のある農業後継者がブランド化の担い手として、さらには今後の本市農業をけん引する中核として活躍できるよう、農業後継者や関係団体などと具体的な支援方法の検討を進めていく。

■市内公共交通機関の現状と将来について

問 バス路線維持のための負担金を、市としてどう位置付けているのか。

答 地域公共交通計画において、「公共交通の維持と運行サービスの改善」を第一の目標に掲げており、バス路線維持のための公共負担は、市民の日常生活を支える移動手段を確保するための重要な施策である。今後も、各事業者と連携して路線バスの利用促進を図ることで公共負担額の抑制に努めるとともに、適切な公共負担額となるよう協議していく。





やまざき てつお 山崎 哲男 (自民クラブ)

1 ひとり親家庭への支援について



■ひとり親家庭への支援について

問ひとり親の方の経済的自立への意識の醸成に向け、日本シングルマザー支援協会と、どのように取り組みを進めていくかが課題とのことだが、必要な支援の考えを伺う。

答多くのひとり親の方に経済的自立に向けた意識をつかんでいただくことが肝要であり、協会との連携事業において、これまでも一貫して取り組んできた。引き続き、ひとり親家庭訪問等相談支援事業などと合わせて、協会との連携による支援事業を実施していく。

問今後、協会との連携による支援をどのように展開していくのか。

答市子育てアプリでのコラム配信を協会と協議し、講座についてもテーマや実施方法を工夫する。また、コミュニティづくりを通じて、ひとり親同士がお互いに自立マインドを高め合う取り組みを進める。このほか、アンケートにより支援ニーズの把握も行いたいと考える。今後も協会と密接に連携し、特色ある支援の充実を図りながら、ひとり親家庭の経済的自立の促進に取り組んでいく。



くぼ とみひろ 久保 富弘 (自民クラブ)

1 有害獣対策について
—特にクマ対策について—
2 青のスイーツイベントの取組と今後の展開について



■有害獣対策について

問クマを撃てるハンターの人数と今後の推移、ガバメントハンター雇用は。

答現在、常時出動ができるハンターは5人程度である。青梅猟友会では、日頃からハンターの確保や育成に努めていただいているが、その数を増やすことや、常時出動ができるハンターを確保することは厳しい状況であると捉えている。現在、ガバメントハンターの雇用は考えていないが、先進自治体の事例や近隣市町村の動向を調査していく。

■青のスイーツイベントの取組と今後の展開について

問来年度も実施するのか、データの他イベントへの今後の活用の検討について伺う。

答来年度以降は、本年の実施結果をさらに分析・評価したうえで、内容を充実させて実施していく。今後、他のイベントにどのようにデータを活用していくか研究するとともに、観光協会や観光関連事業者などと相互に活用できるような環境づくりに取り組んでいく。



かた や ひろお 片谷 洋夫 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

1 地域コミュニティの強化について
—自治会への支援、空き巣などの防犯対策—
2 障がい者支援について
—手話通訳者、同行援護従業者の育成を—
3 交通安全対策について



■地域コミュニティの強化について

問福生市の行政協力員制度について、青梅市でも導入してはどうか。

答福生市の行政協力員の職務内容は、本市の自治会振興交付金交付対象事業と重なる部分が多く、これらは支会や自治会が担っている。直ちに行政協力員制度を導入することには課題があるものと考えているが、導入自治体の状況・効果等を把握し、設置について研究していく。

■障がい者支援について

問手話通訳者、同行援護^{注4}従業者の養成について、今後の市の取り組みを伺う。

答手話通訳者の養成は、講習会等を引き続き実施し、全国統一試験への参加は、青梅市聴覚障害者協会や登録手話通訳者の会等と意見交換を行う。同行援護従業者は、他の自治体や、障害福祉サービス事業所の状況を調査し、必要性について研究していく。



「支援」を手話で伝えている様子



やまのうち くみこ 山内 公美子 (公明党)

1 予防可能ながん対策について
2 子育て支援について
—子育てアプリ・産後ケア・RSウイルスワクチンについて—



■予防可能ながん対策について

問学校と連携した接種向上の取り組みについての考えを伺う。

答小・中学校で行われる「がん教育」は、がんに対する理解を深め、予防に向けた意識を高める、重要な取り組みであると認識している。特に、子宮頸がんの予防の観点からは、「HPVワクチン接種を受ける」という行動につながることを期待している。がん予防の一步を踏み出すお子さんをサポートするためには、保護者の理解が必要である。ワクチン接種率向上に向けた保護者への取り組みにあたっては、学校との連携など、教育委員会と協議していく。

■子育て支援について

問RSウイルスワクチン^{注5}の有効性、安全性、副反応などの情報提供を行い万全の体制でスタートしてほしいが考えを伺う。

答産科医療機関等に協力いただき、妊婦が安心して接種を受けることができるよう、実施体制を構築していく。



いのうえ たかし 井上 たかし (日本共産党青梅市議団)

1 データセンターが環境に与える影響について
—青梅市環境基本計画に照らして—
2 米軍の訓練が市民生活に与える影響について



■データセンターが環境に与える影響について

問膨大な電力を使用するデータセンターには、環境基本計画を踏まえた規制が必要ではないか。

答今後、国や都の動向、他自治体の事例を踏まえながら、青梅市環境基本条例および環境基本計画に鑑み、適切な対応を図っていく。

■米軍の訓練が市民生活に与える影響について

問横田基地でのパラシュート降下訓練が頻繁に行われていることについて、厳しく抗議する必要があるのではないか。

答これまでもパラシュートや付属品等の基地外への落下事故が繰り返し発生し、その都度、国や米軍に再発防止を求めてきた。今回再び場外降着の事案が発生したことは極めて遺憾で看過できるものではない。今回、北関東防衛局長のみならず、防衛大臣に対し要請文を发出し、原因究明、落下物の有無の確認、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練を行わないことを強く求めたところである。



やまざき よしのぶ 山崎 善信 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

1 青梅市の収蔵品の活用について
2 公共施設への地中熱の活用を
3 公共工事における最低制限価格の見直しについて
4 公共工事の入札における工期や総合評価方式の見直しについて



■青梅市の収蔵品の活用について

問市内施設を活用し、博物館や美術館の収蔵品の展示を行うことや、市民による展示・企画などを積極的にバックアップすべきと考えるが見解は。

答収蔵品は、市民の貴重な財産であり、郷土の歴史・文化や優れた美術・芸術作品などを広く市民に紹介することは重要と認識している。より多くの方々に収蔵品を御覧いただける機会を創出するため、一定の条件はあるが、市民が行う展示会への貸し出しや、その展示などへ協力することで、文化芸術活動を推進していく。

■公共工事の入札における工期や総合評価方式の見直しについて

問総合評価方式に加点措置を設けることは、雇用や事業者育成、地域貢献、健康増進などさまざまなメリットがあり、青梅市としても評価項目として追加していくべきと考えるが市の見解を伺う。

答市民生活への影響や事業者育成といった観点も考慮しつつ、他の自治体の運用方法なども研究し、評価項目の見直しに取り組んでいく。





みねざき たくみ 拓実 (日本共産党青梅市議団)

- 1 福祉センター閉館後の代替施設の確保について
- 2 民生委員・児童委員のサポート体制等について



■福祉センター閉館後の代替施設の確保について

問福祉センターを利用している全ての団体の活動継続を保障すべき。代替施設の方向性を明らかにし、仮設の建物が必要となれば、場所などを早急に検討しなければならないと思うが考えを伺う。

答アンケートの結果を踏まえ、既存施設の稼働状況などを考慮し、現在、代替施設の検討を行っているところである。検討結果を取りまとめ、年内を目途に周知を行う予定である。

■民生委員・児童委員のサポート体制等について

問欠員の多い地区は、その地区協議会だけに対応を任せるのではなく、市全体でサポート体制を整える必要があると思うが考えを伺う。

答一人の民生・児童委員に過度な相談業務が集中しないよう、地域福祉コーディネーターと連携を図るなど、積極的に取り組んでいるところである。



こうい しんじ 鴻井 伸二 (公明党)

- 1 タクシー運賃助成事業(マイタク)の拡充を
- 2 市民後見人の育成と活用などについて
- 3 生命(いのち)の安全教育の実践を
- 4 「青梅の妖怪と伝説と七つの不思議」イベントについて



■タクシー運賃助成事業(マイタク)の拡充を

問介護タクシーも対象にできないか。また、登録手続きできる市民センターを増やすことを検討できないか。

答介護タクシー事業者を対象とすることは、利用者にとって選択肢が広がる一方で、運賃体系がタクシーと異なるなどの課題もあるため、利用状況を踏まえながら研究していく。登録手続きができる市民センターの拡充は、来年度に向け検討していく。

■生命(いのち)の安全教育の実践を

問大阪市立田島南小中一貫校の「生きる教育」を青梅市でも取り組んでいく考えはあるか。

答教職員の時間的な負担が課題のため、まずは、教職員の負担を増やさずに実践できる内容を重視し、比較的短時間で実施可能な「対話的な活動」の導入や、授業動画・指導事例の共有など、各校が無理なく取り入れられる工夫を進めていく。



ぬのや かずよ 和代 (立憲民主党)

- 1 グランドピアノの購入と東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画(原案)策定について
- 2 熱中症防止のための「涼み処」の周知とエアコン購入補助の必要性について
- 3 特別支援教育や放課後等デイサービスの利用に必要な、発達障害診断書はスムーズに発行されているか



■グランドピアノの購入と東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画(原案)策定について

問懇談会の案を無視したような基本計画案がなぜ出されたか市長の見解を伺う。

答懇談会の中でも小ホールと中ホールをとの意見があり、それに従って現在進めているところである。

■特別支援教育や放課後等デイサービスの利用に必要な、発達障害診断書はスムーズに発行されているか

問青梅総合医療センターで、青梅市民に限って発達障害の診断と診断書の発行はできないか。

答青梅総合医療センターでは、発達障害に関する専門外来は行っていない。当センターの小児科は、限られた人員の中、西多摩地域で唯一、24時間小児救急へ対応し、主に身体疾患や急性期疾患の診療を担っており、発達障害にかかる専門的評価を行う体制を確保することは困難である。



ふじの 藤野 ひろえ (日本共産党青梅市議団)

- 1 障害者福祉について
—地域生活支援体制の充実等—
- 2 小中学校における保護者の費用負担軽減について



■障害者福祉について

問障害福祉施設は、必要な障がい者が利用できているのか。今後の施設整備の考えは。

答重度身体障害者等のためのグループホームや日中活動支援施設は、市内の障がい者が利用できていない状況にあり、現在も不足していると認識している。施設整備については、障害福祉施設の指定権者が東京都のため、相談を受けた場合、福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針に基づき対応している。

■小中学校における保護者の費用負担軽減について

問修学旅行費用の軽減や教材費、自転車通学への助成を検討すべきではないか。

答移動教室費用の助成や家庭科等の材料費等の一部負担、修学旅行時の帰路のバス借上げ、自転車通学用ヘルメットの貸与等により一定の負担軽減が図られていると認識しており、新たな支援策を行う予定はない。引き続き、近隣自治体の状況や、地域・学校の実情を踏まえ、保護者負担の軽減に資する適切な支援策に取り組んでいく。



のしま しろ 野島 資雄 (公明党)

- 1 自治会活動等への支援策の現状と評価並びに学校法人日本航空学園の自治会行事等での活躍について
- 2 清掃・ごみ収集業務への感謝及び容器包装プラスチックごみの処理の考え方について
- 3 女性活躍社会の推進について



■自治会活動等への支援策の現状と評価並びに学校法人日本航空学園の自治会行事等での活躍について

問自治会長など特定の人への負担の集中を避けるような方法について市から助言していただきたいが考えを伺う。

答自治会役員の負担の分散化については、現在、自治会連合会の専門委員会で市の担当者も同席し検討を進めている。引き続き、他自治体の動向等を注視するとともに自治会連合会と連携し考えていく。

■女性活躍社会の推進について

問市の考え方や方針、また、自治会振興策の一つとして自治会役員への女性登用の促進について施策を展開していただきたいが考えを伺う。

答自治会役員への女性登用に補助金等の交付や増額を実施している他自治体は承知している。その制度内容や効果、財政的な支援以外の施策などを引き続き自治会連合会の意見を伺いながら情報収集を行うとともに、自治会支援や女性活躍の前進に向け努めていく。



活動報告

議会×防災

＼もしもに備えて、いま準備／
青梅市民防災ハンドブック
防災マップはこちら→



令和7年11月19日に、正副議長が打ち合わせ中に市内に震度5強の地震が発生した想定で災害対応訓練を実施し、各議員がタブレット端末を使って、議員の安否報告や市内各地の被害状況の報告を行いました。

最後にオンライン形式による議長の講評を行い、議長からは、「災害発生時に速やかに適切な行動が出来るよう、日頃より災害対応に備えた準備や訓練は非常に重要である」等の話がありました。



■市民の皆さまへ■

自然災害そのものを防ぐことはできませんが、万一の災害時に自分や家族、そして自分のまちをどう守るのかを考えておくことが大切です。一人ひとりが「自分の身は自分で守る(自助)」と「近所同士で助け合う(共助)」という考えを持ち、日頃から災害に備えておくことが大切です。



議案・陳情の議決結果

12月定例議会

◆全会一致で可決または同意となった議案◆

| 議案番号 | 議案件名 |
|------|--|
| 39 | 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第4号） |
| 40 | 令和7年度青梅市下水道事業会計補正予算（第1号） |
| 41 | 令和7年度青梅市病院事業会計補正予算（第2号） |
| 42 | 青梅市立総合病院の建て替えに関する基本計画の変更について |
| 43 | 青梅市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 |
| 44 | 青梅市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 45 | 青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 46 | 青梅市議会議員および青梅市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 |
| 47 | 青梅市障がい者サポートセンターの指定管理者の指定について |
| 48 | 青梅市子育て支援センターの指定管理者の指定について |
| 49 | 青梅市御岳山ふれあいセンターの指定管理者の指定について |
| 50 | 青梅市図書館の指定管理者の指定について |
| 51 | 都市計画道路3・5・5号線整備工事にかかる契約の締結について |
| 52 | 青梅市総合体育館照明設備LED改修および受変電設備改修工事にかかる契約の締結について |
| 53 | 青梅市新学校給食センター（仮称）新築工事にかかる契約の変更について |
| 54 | 青梅市新学校給食センター（仮称）新築電気設備工事にかかる契約の変更について |

| 議案番号 | 議案件名 |
|-------|---|
| 55 | 青梅市新学校給食センター（仮称）新築機械設備工事にかかる契約の変更について |
| 56 | 青梅市立美術館電気設備改修工事にかかる契約の変更について |
| 57 | 青梅市立美術館空調設備改修工事にかかる契約の変更について |
| 58 | 訴えの提起について |
| 59 | 和解について |
| 60 | 市道路線の廃止について |
| 61~62 | 市道路線の認定について |
| 63 | 青梅市教育委員会委員の任命について |
| 64 | 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第5号） |
| 65 | 令和7年度青梅市介護保険特別会計補正予算（第2号） |
| 66 | 青梅市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 |
| 69 | 青梅市一般職の任期付職員の採用および給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 |
| 70 | 和解および損害賠償額の決定について |
| 71 | 解決金額の決定について |
| 72 | 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第6号） |
| 73 | 青梅市副市長の選任について |

◆賛否が分かれた議案◆

[○…賛成 ×…反対]

| 議案番号 | 議案件名 | 議決結果 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 賛成 | 反対 | |
|------|--------------------------------------|------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|--------------|------------|------------|-------------|------------|------------|----|----|---|
| | | | 中野芳則 自民 | 山田紀之 自民 | 寺島和成 自民 | 茂木亮輔 維新 | 井上たかし 共産 | ぬのや和代 立憲 | みねぎ拓実 共産 | 藤野ひろえ 共産 | 目黒えり 市都 | 山崎善信 市都 | 片谷洋夫 市都 | 長谷川真弓 公明 | 山崎哲男 自民 | 阿部悦博 自民 | 迫田晃樹 自民 | 山田敏夫 自民 | 島崎実 自民 | 山崎勝 自民 | 鴨居たかやす 自民 | 久保富弘 自民 | 湖城宣子 公明 | 山内公美子 公明 | 鴻井伸二 公明 | 野島資雄 公明 | | | |
| 67 | 青梅市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 | 5 |
| 68 | 青梅市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 | 5 |

◆全会一致で不採択となった陳情◆

| 陳情番号 | 議決結果 | 陳情件名 |
|-------|------|---|
| 陳情7-4 | 不採択 | 青梅市の組織ぐるみによる悪質、異常な情報公開に関する陳情 |
| 陳情7-5 | 不採択 | 関係条例を無視する市長の非違行為にかかる青梅市立総合病院利用者の要配慮個人情報等の保護に関する陳情 |

主な議案の内容

議案第39号 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第4号）
 【主なもの】 ■子ども・若者の居場所づくりとして市役所2階に自主学习スペースを整備 ■保育所等の熱中症対策に対し補助金を支給 ■墓地公園法面復旧工事にかかる前払金 ■文化交流センターのガラス手すり改修工事を追加 ■美術館改修工事における工事費のインフレスライドにかかる金額を増額

議案第64号 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第5号）
 給与改定や人事異動等の影響により、介護保険特別会計において人件費の補正が必要となったことから、「民生費」において、介護保険特別会計繰出金を増額する。

議案第72号 令和7年度青梅市一般会計補正予算（第6号）
 国の補正予算の成立に伴い、国の補助金を活用し、0歳から高校3年生までの子どもがいる世帯に、1人当たり2万円の物価高対応子育て応援手当を支給する。

指定管理者の指定について

※指定の期間はいずれも令和8年4月1日～令和13年3月31日

| 議案番号 | 議案第47号 | 議案第48号 | 議案第49号 | 議案第50号 |
|------------|--------------------------|--------------|----------------|--|
| 施設の名称 | 青梅市障がい者サポートセンター | 青梅市子育て支援センター | 青梅市御岳山ふれあいセンター | 青梅市図書館 (中央・青梅・長淵・大門・梅郷・沢井・小曾木・成木・新町・今井) |
| 指定管理者となる団体 | 特定非営利活動法人 青梅市障害者団体連合会 | 株式会社明日香 | 御岳山自治会 | TRC・オーエンス青梅グループ 【構成団体】株式会社図書館流通センター、株式会社オーエンス |

2月定例議会の会議予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|------------|----------------------------|----|--------------------|----|----|
| 2/22 | 23 | 24 本会議 (市長施政方針演説、議案審議等) | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 3/1 | 2 | 3 常任委員会 | 4 | 5 予算決算委員会 全員協議会 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 本会議 (一般質問) | 11 | 12 本会議 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 予算決算委員会 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 予算決算委員会 | 24 | 25 | 26 本会議 | 27 | 28 |

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください。

青梅市議会ホームページ
<https://www.city.ome.tokyo.jp/site/gikai/>



アンケート調査実施中

ご回答は ↑ より充実した市議会だよりをお届けするために、アンケート調査へのご協力をお願いします。

政治家・有権者の方々へ 寄附禁止

政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。
 また、有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。
 ▶地域の行事やスポーツ大会、自治会の集会・盆踊りや旅行などの催し物へのお祝いや飲食物の差し入れ、お祭りへの寄附や差し入れなど